出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	平成 30 年 8 月 22 日		担当部署	産業観光部 観光振興課 施設経営管理室	産業観光部 観光振興課 施設経営	室
-------	------------------	--	------	---------------------	------------------	---

※以下は平成30年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人等名称	株式会社 みなもとの郷				
000000	代表取締役 内藤 潔				
代表者名	■ 常 勤 □ 非常勤				
	■ プロパー □ 市派遣 □ 市兼務 □ その他				
所 在 地	新潟県上越市吉川区坪野 1458 番地 2				
設立年月日	平成 12 年 2 月 9 日 資 本 金 10,000 千円 市出資割合 51.0%				
設立目的	吉川区源地域を中心とした中山間地の産業振興を目的に、市の所有若しくは管理する不動産及び入浴施設その他の施設の管理運営を行うため。				

3 組織

(単位:人)

		理事・監事・		3 1	内訳			
		取締役 監査役		計	プロパー	市派遣	市兼務	その他
4.00	常勤	1	_	1	1			
役員	非常勤	5	1	6				6
54	計	6	1	7	1			6
	正職員		=11	3	3	all and an annual and an annual an		
職	臨時職員	-		8	8			
職員	パート職員等	-	4-1	9	9			
	計	-	=	20	20			

4 主な事業

(1)	吉川スカイトピア遊ランドの管理運営
(2)	吉川緑地等利用施設の管理運営
(3)	吉川地域バス運行事業の運行業務委託
(4)	吉川観光協会の事務受託
(5)	尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会の事務受託
(6)	
(7)	

5 事業実績(概要)

【第19期(平成29年度)の経営状況】

- ・第19期の営業収益(売上高)は、前期との比較で1,066千円減(2.3%の減)の45,499千円となりました。自主イベントの開催やホームページ等を活用したPR活動に取り組んだことにより体験事業等の利用が促進されたことや、道の駅よしかわ杜氏の郷での新規事業を開始したことなどにより営業収益が増加した部門があった一方、スカイトピア遊ランドでの宿泊者が減少したことなどから、全体としての営業収益は減少しました。
- ・営業費用は、前期との比較で 1,108 千円減 (2.4%の減)の 45,487 千円となりました。営業 収益の減少に伴い売上原価が減少したことや、一般管理費・販売費で経費の削減に努めたことなどにより減少しました。
- ・この結果、最終的な当期純利益は15千円となり、3期ぶりに単年度黒字を達成し、第19期末における累積欠損金は18千円に縮減されました。

【第19期の主な取組内容】

- ・ 尾神地区の自然や歴史、文化を活かした誘客活動と都市交流事業を推進
- ・上越市域に加え、柏崎市域も視野に入れた体験事業の拡充
- ・ 地産地消を心掛けた料理の提供等によるサービスの向上

【各施設の利用実績】

○ 吉川スカイトピア遊ランド

(単位:人)

		平成 27	年度	平成 28	年度	平成 29) 年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績
宿泊		1, 600	1, 907	1, 460	1, 713	1, 510	1, 616
休 憩		4, 000	4, 652	4, 300	4, 806	4, 350	4, 834
体験交流	入館者	2, 100	2, 444	2, 400	2, 507	2, 300	2, 545
センター	体験者	1, 000	642	640	748	690	734
合	計	8, 700	9, 645	8, 800	9, 774	8, 850	9, 729

・ 吉川スカイトピア遊ランドの利用者数は、全体で 9,729 人となり、前期と比較して 45 人の 減 (0.5%の減) となりました。このうち、宿泊の利用者数は 1,616 人となり、前期と比較 して 97 人の減 (5.7%の減) となりました。

○ 吉川緑地等利用施設

(単位:人)

31	平成 27 年度		平成 28	平成 28 年度		平成 29 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
見はらし荘	800	715	980	888	1, 030	725	
スポーツスライド	800	819	700	1, 149	800	962	
キャンプ場	20	25	20	34	20	52	
合 計	1, 620	1, 559	1, 700	2, 071	1, 850	1, 739	

* 吉川緑地等利用施設の利用者数は、全体で 1,739 人となり、前期と比較して 332 人の減 (16.0%の減) となりました。このうちスポーツスライドの利用者数は 962 人となり、前期と比較して 187 人の減 (16.3%の減) となりました。

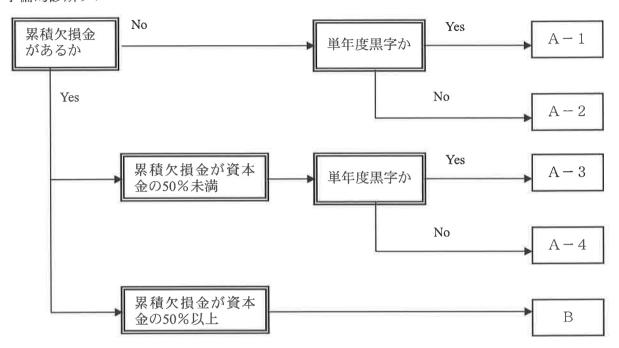
6 財務状況

(単位:千円)

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	EE . 1137
	項目		自平成28年4月1日	自平成29年4月1日	備考
		至 平成 28 年 3 月 31 日		至 平成30年3月31日	
	営業収益 (売上高)	46, 339	46, 565	45, 499	
	営業費用	46, 882	46, 595	45, 487	
	売上原価	10, 996	11, 422	10, 451	
	一般管理費・販売費	35, 886	35, 173	35, 036	
	営業利益	△543	△30	12	
損	営業外収益	71	64	73	
損益計算書	営業外費用	0	0	0	
書	経常利益	△543	34	85	
	特別利益	71	0	0	
	特別損失	0	0	0	
	税引前当期利益	△472	34	85	
	法人税等	70	70	70	
	当期利益	△542	△36	15	
	項目	平成28年3月31日現在	平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在	備考
	資 産	13, 009	12, 299	12, 847	
	負 債	3, 006	2, 332	2, 865	
貸借品	純資産	10, 003	9, 967	9, 982	
貸借対照表	資本金	10, 000	10, 000	10, 000	
	剰余金・欠損金	3	△33	△18	
	その他	0	0	0	

7 経営状況の予備的診断

予備的診断フロー



評価	A - 3
----	-------

	評価基準	備考
A-1	累積欠損金がなく、単年度黒字の 場合	引き続き経営努力を 行う。
A-2	累積欠損金がなく、単年度赤字の 場合	複数年の経過を注視 しながら引き続き経 営努力を行う。
A-3	累積欠損金が資本金の 50%未満 で、単年度黒字の場合	経営改善の努力を要する。
A-4	累積欠損金が資本金の 50%未満 で、単年度赤字の場合	経営改善の一層の努 力を要する。
В	累積欠損金が資本金の 50%以上の 場合	事業の見直し等も含めた抜本的な経営改善を要する。

※ この評価に関連する特殊な事情又は要因など特記すべき事項

平成29年度(第19期)において、単年度黒字を計上したことから、経営状況の予備的診断は、前期のA-4から、当期はA-3となりました。しかしながら、平成28年度(第18期)に計上した累積欠損金の解消はなされていないことから、経営改善に向けた努力を促していきます。

8 市の関与の状況

(1) 市の委託額

平成27年度 平成 28 年度 平成 29 年度 備考 内訳 吉川スカイトピア遊ランド 2, 533 2, 533 2. 533 指定管理委託料 吉川緑地等利用施設 1. 942 1, 960 1.960 指定管理委託料 吉川地域バス運行業務委託料 4, 996 4, 648 4, 552 (3) 9, 471 9. 141 9.045 計

(2) 市の財政援助額

1000 例 以 1500 假					
内訳	平成27年度	平成 28 年度	平成 29 年度	備考	
補助金(助成金)	0	0	0		
貸付金	0	0	0		
損失補償	0	0	0		
債務保証	0	0	0		
その他(補填金)	152	190	205	シニアパスポート減免補填分	
計	152	190	205		
	内訳 補助金 (助成金) 貸付金 損失補償 債務保証 その他 (補填金)	内訳平成 27 年度補助金(助成金)0貸付金0損失補償0債務保証0その他(補填金)152	内訳平成 27 年度平成 28 年度補助金 (助成金)00貸付金00損失補償00債務保証00その他 (補填金)152190	内訳平成 27 年度平成 28 年度平成 29 年度補助金 (助成金)00貸付金000損失補償000債務保証000その他 (補填金)152190205	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

【事業計画】

平成30年度(第20期)は、売上高44,500千円、営業利益黒字化の継続を目標に掲げ、次の事業展開を図り、雇用の拡大と健全経営に努める。

- ① 棚田オーナー事業やそばオーナー事業など各種交流事業を展開し、誘客を図る。
- ② 各種パラグライダー大会を開催し、スカイスポーツ愛好家を介したPR活動に努める。
- ③ 農業体験や田舎体験、その他各種体験事業を展開し、地域との連携を深め、誘客を図る。
- ④ 「山菜祭り」などの各種イベントを企画・開催し、年間を通じた施設の利用を促す。
- ⑤ 接客サービスの拡充に努めるとともに、経費削減に取り組み、経営改善を図る。

【集客目標】

(単位:人)

(単位:千円)

(単位・千円)

スカ	イトピア遊う、	ンド	吉川緑地等利用	施設
宿 泊		1, 560	見はらし荘	1, 140
休憩		4, 500	スポーツスライド	840
体験交流	入館者	2, 400	キャンプ場	20
センター	体験者	740		
合 計		9, 200	合 計	2, 000

(2) 中長期経営計画

なし

報告事項 第19期営業報告について

第19期 営業報告書

株式会社 みなもとの郷

概況等

(1) 当社は、上越市吉川区尾神岳エリアの観光関連施設としてのスカイトピア遊ランド並びに緑地等利用施設の管理運営を主体として、吉川地域バスの運行業務や尾神岳スカイスポーツエリアの管理運営、加えて吉川観光協会や顕法寺城址で狼煙を上げる会、水源地域振興対策協議会、尾神岳ファンクラブ、吉川おどり隊などの各事務局を受託するなどして、広く地域の諸課題に対応しつつ各種事業等を積極的に展開しながら、雇用の場の創出と地域の活性化を図ることを重点目標とした経営に努めています。

しかしながら、その経営は中山間地に存するという立地条件や行き止まり等の道路条件に加え、積雪が多いという条件等からして、かつてはスカイスポーツ基地としての尾神岳観光エリアへの入込客に頼っていたものの、当エリアへの入込客の減少や地域の過疎化・人口の高齢化が進んでいることにより厳しい経営がしいられています。

このような厳しい状況を何とか打開しながら、経営の立て直しを図るために、役職員一丸となった営業努力と経費削減に努め、徐々に経営改善を図りつつ安定経営を目指して進めてきています。

また、スカイスポーツの愛好者が減少してきている状況を鑑み、当地の豊かな自然や地域の歴史・文化に着目し、これらを活かしながらの誘客活動と都市交流事業等の推進を図ってきた底力やHP等を活用してPRを続けてきた成果が少しずつ現われてきているものと感じています。

加えて、吉川区のみならず合併後の市域全域に加え隣接する柏崎市域等も視野に入れながらの誘客や体験事業の拡充に加え、地産池消に心掛けた料理の提供、各種サービスの向上を目指して進めてきた成果による結果、リピーター率が着実に向上してきているものと考えています。

(2) 取締役会の開催につきましては、課題等が生じた場合にのみ必要に応じて開催することとし、定期的開催は行わないこととしています。

なお、特に急を要する場合等は持ち回り協議等で対応させていただくこととしています。昨年の株主総会以降は、9月19日、1月18日、3月31日、6月12日と4回開催いたしました。

- (3) ① 今期(平成29年度)の営業収益(売上高)は、45,499千円であり、前期営業収益(売上高)との比較で1,066千円の減(約2.3%の減)となってしまいました。この数値は、年度当初に計画しお示しした数値(44,200千円)を一応上回ったものとなりました。
 - ② 営業費用は、人件費や燃料費等の削減に努め、消費税の重圧感を感じながらもサービスの低下とならないように切り詰めた結果食料関係費でも971 千円削減することができ、45,487 千円と営業収益(売上高)を若干下回る結果となりました。
 - ③ 当期は、経常利益が85千円となり、結果としてわずかではありますが税引後の当期純利益が15千円となったところであります。

貸借対照表

	平成 30 年 3 月	31 日現在	単位 円
F the Til the de	資產	の部	
【流動資産】			
現金及び預金		4,979,414	
売		1,148,530	
		1,990,983	
前 払 費 用 未 収 金		57,660	
仮 払 金		433,121	
W IA W	流動資産合計	30,000	0 000 000
【固定資産】	(加) 到 貝 庄 口 司		8,639,708
(有形固定資産)			
建物		3,168,022	
建物附属設備		270,641	
機械装置		301,905	
車両運搬具		301,303	
工具・器具・備品		24,705	
構築物		181,951	
	有形固定資産合計	3,947,225	200
(投資その他の資産)		0,011,000	
出 資 金		1,000	
	投資その他の資産合計		
	固定資産合計		3,948,225
【 繰 延 資 産 】			
開 業 費		259,559	
	繰延資産合計		259,559
	資産の部合計		12,847,492
	*		
F who and the late N	負債	の部	
【流動負債】			
買 掛 金		305,728	
未払費用		1,805,670	
未払法人税等		70,000	
未払消費税等		573,400	
預り金	次 利 <i>在</i> /	110,640	
	流動負債合計		2,865,438
	負債の部合計		2,865,438
	純 資 産	の部	
【株主資本】		His	
(資本金)			
資 本 金		10,000,000	

資本金合計

負債及び純資産の部合計

10,000,000

(利益剰余金) 繰越利益剰余金

 A 益 剩 余 金 合 計
 Δ17,946

 株 主 資 本 合 計
 純 資 産 の 部 合 計

9,982,054 9,982,054 12,847,492

損益計算書

自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日

至 平成 30 年 3 月 31 日 単位 円 【純売上高】 売上1(遊ランド) 38,929,365 売上2(見晴し・ボブスレー) 909,570 売上3(地域バス) 4,551,816 売上4(道の駅) 1,108,340 45,499,091 【売上原価】 期首商品棚卸高 1,863,628 仕入1(一般) 10,120,424 仕入2 (タバコ等) 220,408 仕入3(道の駅店) 237,622 12,442,082 期末商品棚卸高 1,990,983 10,451,099 売 上 総 利 益 35,047,992 【販売費及び一般管理費】 35,036,267 営 利 益 11,725 【営業外収益】 受 取 利 息 21 雑 収 入 73,541 73,562 経 常 利 益 85,287 【特別損失】 固定資産除却損 1 税引前当期純利益 85,286 法人税、住民税及び事業税 70,000 当 期 純 利 益 15,286

販売費及び一般管理費

自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日

単位 円

荷	造	運	賃	39,035
給	与	賃	金	21,966,226
法	定有	畐 利	費	1,214,399
福	利月	更 生	費	308,386
租	税	公	課	1,277,713
水	道う	ピ 熱	費	4,342,734
通	信	Ī	費	544,799
広	告宜	宝 伝	費	151,048
接	待る	を際	費	92,000
損	害化	凝	料	48,264
修	糸	善	費	278,556
消	耗	品	費	920,683
減	価値	賞 却	費	426,275
支	払 号	5数	料	1,257,772
車	可	Ī	費	878,889
1)		ス	料	108,440
諸	4	<u>></u>	費	107,660
設	備	保	守	418,084
環	境循	5 生	費	574,940
雑			費	80,364
				版 売 豊 及 バ 一 舩 答 理 弗

販売費及び一般管理費

35,036,267

株主資本等変動計算書

自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日

単位 円

		株主	資本			
			則余金			
	資本金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	株主資本合計	純資産合計	
当期首残高	10,000,000	△33,232	△33,232	9,966,768	9,966,768	
当期変動額						
当期純損益金		15,286	15,286	15,286	15,286	
当期変動額合計		15,286	15,286	15,286	15,286	
当期末残高	10,000,000	△17,946	△17,946	9,982,054	9,982,054	

個 別 注 記 表

自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日

- I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記 資産の評価基準及び評価方法 たな卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法を採用しております。 固定資産の減価償却の方法 定額法又は旧定額法及び定率法又は旧定率法を採用しております。 会計処理の原則又は手続の変更 消費税の会計処理は税込方式を採用しております。
- II. 貸借対照表に関する注記 有形固定資産の減価償却累計額

7,916,768円

監查報告書

第19期決算監査の結果、貸借対照表、損益計算書および利益処分について、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

平成 30 年 6 月 12 日

株式会社みなもとの郷

監査役 中 村 久 人

そ の 他 第20期事業計画について

第20期 事業計画

株式会社 みなもとの郷

当社の経営は、中山間地に存するという立地条件や行き止まり等の道路条件に加え、積雪が多く、過疎化・人口の高齢化が急速に進んでいることにより厳しい経営がしいられています。

このような厳しい状況を何とか打開しながら経営の立て直しを図るため、役職員の協力のもと営業努力と経費削減に努めることとしています。

このため、当地の豊かな自然や地域の歴史・文化の伝統を活かしながら一層の誘客活動に努め、都市交流事業の更なる推進を図り、収入の増加につなげていきます。

また、地域バスの運行業務や吉川観光協会の事務、尾神岳スカイスポーツエリアの管理など、また、一方ではスカイトピア遊ランドが市の指定避難所を兼ねた指定緊急避難場所として指定されていること等を鑑み、地域住民の安全・安心にも配慮するなど、引き続き地域の諸課題にも対応しつつ各種事業等を積極的に展開し、雇用の場の創出と地域の活性化を図りながら地域福祉の向上にも貢献していきます。

歴史的な東日本大震災以降の不況感が戻らない中、平成26年4月からの消費税率アップの影響に加え、来年からの更なる消費税率アップが実施されることや主たる産業の地域農業の先行き不安等を考えると、当地の観光産業には一層厳しさが増すものと思われます。

当社としては、こうした影響等についても充分配意しつつ、一方では、積極的な取り組みが必要であると考えています。具体的には、次のような事業等を展開しながら雇用の拡大と健全経営に努め、吉川区内における地域産業の重要拠点の一つとしての確立を目指していきます。

(1) 各種交流事業の展開

棚田オーナー事業やそばオーナー事業を継続するとともに、新しい取り組みなどについても検討を重ねる。また、市や諸団体等が行う交流事業や体験事業の拠点施設としての自覚を持ち、市並びに諸団体や地域の皆さんと連携しながら積極的に事業参画し、誘客に結びつけていきます。

(2) スカイスポーツ基地との共生

尾神岳は、スカイスポーツ基地のメッカとして知られ、新潟県知事杯や上越

市長杯、吉川観光協会長杯、スチューデントカップなどのパラグライダー大会が毎年開催されてきています。また、本年度からJ2アキュラシー大会も計画に組み込まれるなど尾神岳スカイスポーツエリアの一層振興を図りつつ、全国各地から集まるスカイスポーツ愛好者を介したPR等による誘客にも努めていきます。

また 本年も春と秋に開催される上越市長杯と新潟県知事杯のパラグライダー大会では上越市地域活動支援事業による「振興特別事業」が計画されているため、その相乗効果を期待するとともに、フライヤーの育成やパラグライダーの初心者体験、観光フライトの推進にも協力していきます。

(3) 農業体験や各種体験事業の展開

農業体験はもちろんのこと、そば打ち、おやき、ちまき、アイスクリーム、 米粉ピザなどの食体験や草木染め、竹細工、わら細工、あけびのつる細工、木 工細工、自然観察など各種体験事業のさらなる拡充と積極的な取り組みを推進 していきます。

また、引き続き越後田舎体験関係事業にも積極的にかかわり、地域との連携を深めながら誘客に結び付けていきます。

特に、吉川ならではの「パラグライダー初心者体験」を越後田舎体験事業の 一環としてメニュー化を推進し、誘客に努めていきます。

(4) 各種イベント等の取り組み

市並びに各種団体の企画された事業やイベント等に積極的に参加するとと もに、通年誘客の一環として独自のイベントなども開催する。

春は「山菜祭り」や「山菜採りツアー」、夏は「焼き肉大会」、秋は「新そば祭り」、冬は「雪祭り」、その他、分館単位の高齢者を対象とした「ふれあいお楽しみ会」、「冬季限定料理メニュー特別企画コース(1月~3月間)」「よしかわ杜氏の郷の新酒を楽しむ会」などの各種イベントを積極的に取り組んで参ります。

(5)経営の改善について

- ① 職員の研修機会を増やし、接客サービスの拡充等に努めていきます。
- ② 資材・食材等の仕入れの点検を日常的に行い仕入口スの減少に努め、 節電・節水等にも極力対応していきます。

(6) その他の取り組み

- ① 休憩に訪れる日帰り客へのサービス向上のため、昼食メニュー等の更なる拡充を図っていきます。
- ② 地域との連携により、地場産品や特産品、山菜などの「お土産」や売店業務を拡充していきます。
- ③ 特徴ある食材や地場産品の確保に努め、お客様のニーズをつかみながら地域料理(田舎料理・郷土料理等)を主体に提供していきます。
- ④ 尾神岳を訪れてくれる人達が、ゆっくりと自然に親しむことができるような森林空間として「遊歩道」や「山頂広場」「探索の森」「遊休地活用型園地・小動物園」の整備などを継続して進めていきます。
- ⑤ 越後田舎体験事業や各種オーナー事業を進める上で、農地問題や農業の 担い手不足等の地域課題が多く見受けられます。また、遊ランド周辺の農 地の荒廃が急速化するなど、環境問題なども含め体験型の観光農場の整備 等についても、地域の皆さんから協力していただきながら進めていきます。
- ⑥ I T化社会に対応するため、ホームページや各種 P R サイト等を有効に 活用し、より一層の誘客活動に努めていきます。
- ⑦ お風呂に鉱泉を利用した温泉サービスの試行を続け、地域資源の活用を 図りながら健全経営に結び付けていきます。
- ⑧ 観光関係団体等(尾神岳ファンクラブ、吉川おどり隊、よしかわ里山クラブ、尾神岳エリア委員会等)との連携を一層深め、誘客につなげ地域の活性化にも結びつけていきます。
- ⑨ 地元の吉川ゲートボール協会の協力により、定着化が図られている「遊ランド杯ゲートボール大会」を中心に他の大会等も誘致し、誘客に結びつけていきます。
- ⑩ 道の駅よしかわ杜氏の郷のブースを、アンテナショップ等として活用を図りながら収入の増加につなげるように努めていきます。

(7) 今後のテーマ

当社では、その経営状態からして役職員の待遇等については劣悪な状況を 余儀なくされてきています。今後は、こうした面での改善も図りながら地域 雇用の安定化を進めていくことをテーマとしていきます。

第20期 収支計画

(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(収入の部)

単位·千円

	科目	777-27	本年度計画額	前年度計画額	増減	
利	用料	金	30,660	30,000	60	660 入浴(日帰り)、宿泊、体験交流、食堂、スラグラー等の利用料金
受	託	料	9,040	9,471	-43	31 指定管理者受託料
雑	収	入	4,800	4,729	ř	71 売店、自動販売機売上、自主事業収入
	合計		44,500	44,200	3(00

(支出の部)

	(文山(2部))						
_	~~~~	· 目		本年度計画額	前年度計画額	増 減	備考
給	料	賃	金	21,150	21,000	150	
法	定者	畐利	川費	1,050	1,000	50	社会保険料、労働保険料
福	利厂	見 と	上費	300	290	10	通勤手当、職員研修費
租	税	公	課	1,250	1,200	50	法人税·住民税·消費税
諸	<u> </u>	<u></u>	費	100	100	0	商工会費、食品衛生会費
仕			入	10,550	10,500	50	
水	道)	七素	. 費	4,300	4,200	100	水道、電気、ガス代
旅	費?	Ž į	重費	30	30	0	
通	1	Ē	費	540	500	40	電話代、切手代等
広	告	重位	宝 費	150	150	0	広告掲載料、HP作成費等
接	待る	と際	費	50	50	0	
損	害	录 隊	利	50	50	0	火災保険、食中毒保険
修	糸	善	費	270	200	70	設備修繕料
消	耗	品	費	830	800	30	消耗品等
減	価値	賞去	費	430	450	-20	
車	ार्जि	掛	費	1,070	1,200	-130	車燃料代等
支	払ミ	巨数	料	1,200	1,200	0	記帳指導料等
環	境後	新 生	麦費	580	600	-20	
設	備化	R H	ド料	340	330	10	净化槽、消防設備等
賃	信	<u></u>	料	80	100	-20	車両、設備リース
雑			費	100	150	-50	除雪費、テレビ受信料他
予	ſī		費	80	100	-20	
	合	計		44,500	44,200	300	